

2024~2025 年度クラブ運営方針
「生み出そう感謝される喜びを」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2024 年（令和 6 年）8 月 7 日（水）
第 1636 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会

（塚田 浩 SAA）



●開会点鐘

（田畑 勝久会長）

●国歌斉唱

ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●会務報告

（田畑 勝久会長）



8月3日（土）、青梅花火大会に立川ロータリークラブの平井会長と三浦幹事をお誘いし、自宅でバーベキューを開催しました。当クラブからは若杉パスト会長をはじめ8名の方にご参加いただきました。1クラブ100人以上の会員をまとめる大変さや、会員数が多いからこそできる地域との交流など、楽しく語り合いながら充実した時間を過ごすことができました。

8月4日（日）・5日（月）には、若杉奉仕プロジェクト委員長、柴田副幹事、石岡純親睦委員長の4名で、広島へ親睦旅行の視察に行っていました。10月20日（日）・21日（月）の本番さながらに、移動こそタクシーでしたが、全行程を巡る旅を実施しました。私自身、初めて、広島への平和記念資料館を訪れましたが、恐怖と悲しみで全てを見ることができませんでした。原爆投下から79年が経過した今も、パレスチナ自治区やウクライナで戦闘が続いていることに、胸が痛みます。一方で、中国は運用可能な核弾頭を500発保有していると推計され、北朝鮮も核開発を進めています。日本も、岸田首相の言葉通り、アメリカなど核保有国と厳しい現実を共有し、信頼関係を築くことが、核兵器のない世界を目指すための土台となるでしょう。難しい世界情勢の中でも、ロータリーのおかげで、小さなことから平和の実現に向けて行動していきましょう。

●幹事報告

（岡野 和弘幹事）



8月2日（金）18:30から「翠凰楼」にて社会奉仕委員会炉辺会議が開催されました。くじら祭りの進行、各委員や各会員の役割分担などについての説明がありました。

東京国立白うめRCより「第4回くにたち童謡歌唱コンクール参加募集のご案内」が届いておりますので、お手元の資料をご確認ください。

東京ピースウィングロータリーEクラブより10周年式典開催御礼、クラブHP及びメイクアップのご案内が届いておりますので、お手元の資料をご確認ください。

●卓話

「車椅子贈呈事業報告会 エチオピア体験記」

中澤 紀之会員



本日は、前年度に国際奉仕委員長としてエチオピアへ行った話をさせていただきたいと思います。少し時間が経ってしまっているので、作成したPVがありますので、約2分40秒の映像をまずご覧いただき、その後で話に入りたいと思います。

メンバーの紹介です。指田さんは、24時間明るくて元気な方で、今回の旅がどうなるのか非常に楽しみにしていました。そして、志賀さんは24時間優しい方で、彼からも多くのことを学ばせていただきました。1週間という短い期間でしたが、朝昼晩と一緒に食事をし、常に行動を共にする機会はなかなかないので、とても貴重な経験でした。スケジュールは1週間と決まっていたのですが、エチオピアに行くまでの飛行機の移動が18時間もあり、途中で韓国で乗り換えをしました。韓国が今や中央アジアのハブ空港となっていることに少し寂しさを感じました。エチオピアに着いてからは、予定がなかなか立てられず、ほぼ毎日何かしらの予定変更がありました。ある日は、黒柳徹子さんのような有名な女性、マリージョイさんと面談する予定だったのですが、当日には知らない男性が現れて、彼から話を聞くという予想外の展開に少しショックを受けました。時差も6時間あり、夜11時半に寝ようとする、ちょうど日本の朝5時半で、仕事の連絡が始まる時間帯

だったため、時差の影響もありかなりきついものがありました。

エチオピアの街並みはインフラが整っておらず、工事中の場所も多く、バリケードも何もない状態で、停電も頻繁に発生していました。Wi-Fiが使えないどころか、携帯の充電すらままならない状況でした。飛行機に乗っても、USBポートが使えない、リクライニングが壊れている、トイレの2つが使えないなど、至る所が壊れているという印象でした。

皆さんから寄せられた8万円分の支援物資を購入し、袋詰めを行いました。その際に指田さんの部屋で作業をしていると、なんと指田さんのカードキーがなくなってしまうというハプニングもありました。贈呈式の会場では、床に草が敷き詰められており、歩くのが非常に大変でしたが、現地の人々の温かいおもてなしを感じることができました。しかし、ボロボロの街で、障害を持った子供たちが一度に集まっている姿を目の当たりにし、ここで彼らが生きていくんだと感じた時は、非常に重たい気持ちになりました。

「子ども用車椅子を海外に送る会」の活動に何度か参加させていただいた際に、現地で日本のカスタマイズされた車椅子が本当に使えるのかという問題についても、色々な話を聞いてきました。そのため、実際に現地の状況を見定めたいという思いと、アフターケアやオペレーションがどうなっているのかも非常に気になっていました。意外と細かく、子供の体に合わせたぴったりのものが届けられている印象を受けました。アフターケアについては、整備された車椅子は、私たちから個々に直接送られるのではなく、ロータリーから現地の団体に渡され、その団体を通じて個々に届けられる仕組みになっています。結果として、団体のオペレーションがしっかりしており、会場も素晴らしかったです。ただ、現地では、自転車のパンク修理のような基本的なことすらわからない様子で、初歩的なオペレーションに驚かされました。また、チョコレートを渡しても、開け方がわからないといったことがあり、これも衝撃的でした。しかし、後日、誰がどのように物資を受け取ったかがきちんと管理されていることを確認し、この活動は本当に素晴らしいものであると感じました。私は思わず泣いてしまいましたが、志賀さんはそれ以上に泣き崩れていました。

ここで少しくエピソードですが、数年前にベストセラーとなった『ファクトフルネス』という本の一説に、世界中の1歳児のうち何人が予防接種を受けているかという問いがありました。その答えは80%です。エチオピアでも、1歳未満の子供の82%が結核の予防接種を受けています。こうしたデータから、エチオピアにも中間層が多いのかと思っていたのですが、実際に現地に行ってみると、そうではないことがよくわかりました。国際奉仕活動においては、「本、旅、人」と言われるように、現地に行かなければわからないことが多いと実感しました。コミュニケーションというのも、必ずしも言葉を交わすことだけではなく、相手に興味を持つことがその第一歩であるということです。旅をしなくても、相手に興味を持つだけで、これがコミュニケーションの始まりだと思っていただけだと思います。また、奉仕活動とボランティア活動の違いについて調べたところ、奉仕活動は団体としての大きな活動を指し、ボランティア活動は個々で行う地域レベルの活動が多いということがわかりました。今後の活動においては、ロータリーとして誰が何をして、誰のためになるのかをしっかりと伝え、団体としての奉仕活動を進めていくことが重要だと感じました。

ここからはエチオピアについて、私の心に残っている

ことをお話しします。志賀さんが最後にどうしてもコーヒーが飲みたいと言いつつ出しまして、初日などではこういった場所を避けていたのですが、志賀さんの順応力がすごくて、どんどんこういう場所に出向くようになりました。結局、タクシーアプリを使って、いろいろな場所に行くようになってしまったんです。エチオピアはとにかく何と言っても臭いんです。街が臭いし、お札も臭い。食べ物も臭くて、本当に臭いんです。インジェラという国民食もあるんですが、見た目は美味しそうなのに、すごく臭いんです。この川も発酵していて、非常に独特な味がしました。最後の方では少し慣れて、美味しく感じました。

また、エチオピアの人々は必ず2度断るんですよ。僕たちが例会に出た時の話なんですけど、この時も僕らだけがコーヒーを飲んでいて、現地の人たちは飲んでいなかったんです。コーヒーを勧められて「欲しいです」と答えたのですが、彼らは絶対に断るんです。一緒にご飯を食べようと言っても、タクシーの運転手にチップを渡そうとしても、実は欲しいのに、2回きっちり断ってくるんです。これが本当に現実で、僕らだけがコーヒーを飲んでいただけだと後から気づきました。そして、どこに行ってもコーヒーを飲むんですが、このコーヒーのなみなみと注がれた様子をご覧ください。なんでこんなに注ぐのか調べたんですが、これがホスピタリティの象徴なんですね。要は、ゲストをもてなす精神や、共有と豊かさの象徴として、なみなみと注ぐのが文化なんです。ただ、注ぐときにこぼしてしまうことも多いです。これは調べたばかりの情報です。

渋滞のレベルが違うというのも、本当に感じました。ベトナムやフィリピンもすごいですけど、それとは全然違います。例えば、ガソリンスタンドでガソリンを入れるのに半日かかることもあるんです。もう、絶対に動かない道をなんとか進もうとする状況で、車を置いて歩きたいと感じるほどでした。これが経済発展を妨げている最大の原因だと思います。ビジネスも成立せず、約束事も成立しないような街に感じました。それから、エチオピアの女性がとても美しくて驚きました。リアルなライオンキングのように、頭が小さくて体型がすごくシュッとされていて、エチオピア出身のスーパーモデルが多いのも納得でした。

そして最後に、私の一番印象に残っている光景なんですけど、エチオピアの人たちはずっと座っているんですよ。例えば、日本でいうと中央分離帯に座っているような感じです。まるで犬や猫が疲れたらその場で寝るかのよう、排気ガスなんて気にせず、ずっと座っているんです。おそらく、ご飯を食べたりお風呂に入ったりする概念がなく、できるだけ消費を抑えようとしているんじゃないかと思います。エチオピアを思い出すときに、この光景が一番強く心に残っています。家族で座っていることもあるんですが、会話するわけでもなく、ただひたすら座っているという感じです。

指田 裕士会員



私は今回、幹事として参加させて頂き、国際奉仕委員長の中澤さん、副委員長の志賀さんにもご同行いただき、エチオピアの旅行が大成功だったと感じています。このお二人の努力は本当に素晴らしく、準備の段階から大いに助けられました。

エチオピアについては、中澤さんにお話し頂きましたが、ほんの一部しかお伝えできていないのが実情です。私

自身、何をお話ししようかと考えた時、少し国際ロータリークラブについてお話ししようかと思いました。エチオピアにもロータリークラブがあり、その存在に驚きました。エチオピアはどちらかと言うと支援を受ける側だと思っていたので、まさかロータリークラブがあるとは思いませんでした。また、そこで1億円の基金を持っているというのも驚きました。どこに行っても、ロータリークラブの活動は同じように行われており、私もその一員であることを誇りに思います。

志賀 義任 会長



今年度はエチオピアに行かせて頂きました。私は以前、ネパールにも行ったことがあります。その時も国際奉仕委員長として参加させていただきました。本当に、このクラブのおかげで2度も海外に行かせて頂き、素晴らしい贈呈式にも参加しました。現地で

見た子供たちの笑顔や、親御さんたちの喜び姿にとっても感激しました。

今回、指田さんと中澤さんと3人で旅することが出来まして、妻とすら1週間一緒に旅行したことがないのに、この3人で8日間も共に過ごせたのは特別な経験でした。お二人には本当に感謝しています。今年度も私が国際奉仕委員長としてモンゴルに行く計画を立てています。モンゴルへの支援については、また後日ご相談させていただきます。どうもありがとうございました。

●新年度各委員長活動方針

本田 征勇 クラブ管理運営委員長



皆さん、こんばんは。少し遅くなりましたが、今年度の事業計画についてお話しさせていただきます。私は、このクラブの右側ブロックのリーダーを務めることが決まりました。

まず最初に、皆さんもご存知かと思いますが、この昭和館は来年

1月で閉館となります。これに伴い、私たちも他の会場で例会を行わなければなりません。理事会などで色々と検討が進んでおり、方法も大まかに決まっていると思います。クラブが創立した当時は、星野さんの会社の事務所の上にある会議室をお借りしたり、大須賀会員の会社の2階を事務所兼例会場として使っていました。そして、この昭和館ができた際に、こちらに引っ越してきました。しかし、再び昭和館が閉館となるため、昔のように自分たちでいろいろなことを手配しなければならなくなるでしょう。例えば、ビデオ設備など、今後は色々な問題が発生する可能性があります。クラブの運営に関わる委員会や担当者の方々には、これから多くの試行錯誤が必要になるかもしれません。委員長をはじめ、委員の皆さんにはご負担をおかけすることになると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

●ニコニコBOX

(桜井 慶太 親睦委員)



◎田畑会長
志賀ノミニ一、指田会員、中澤会員、卓話とても楽しかったです。

・岡野幹事

中澤会員、志賀会員、指田会員、本日は車椅子贈呈事業の貴重なお話ありがとうございました。

・岩本会員

中澤さん、志賀さん、指田さん本日の卓話よろしく申し上げます。

・重森会員

中澤さん、志賀さん、指田さん本日の卓話ありがとうございました。

●出席報告

(中園 裕 出席副委員長)



会員数 54名

出席義務会員 53名

本日の出席 33名

●委員会報告

(磯野 昇 親睦副委員長)



すでにご案内しておりますが、10月20日(日)、21日(月)に広島方面への親睦旅行を予定しています。まだ多くの方から返信をいただいておりますが、発注の期日が迫っておりますので、できるだけ早くご返信をお願いいたします。

●次週例会予定

(重森 元樹 プログラム委員長)



8月14日(水) くじら祭振替休会

8月21日(水)

「昭島市民くじら祭について」
菅野晋央社会奉仕・境保全委員長

●閉会点鐘

(田畑 勝久 会長)